

「エントツノシタ」 県北の魅力をPR

旭化成延岡支社 宮崎空港ビルで開催中

18日まで



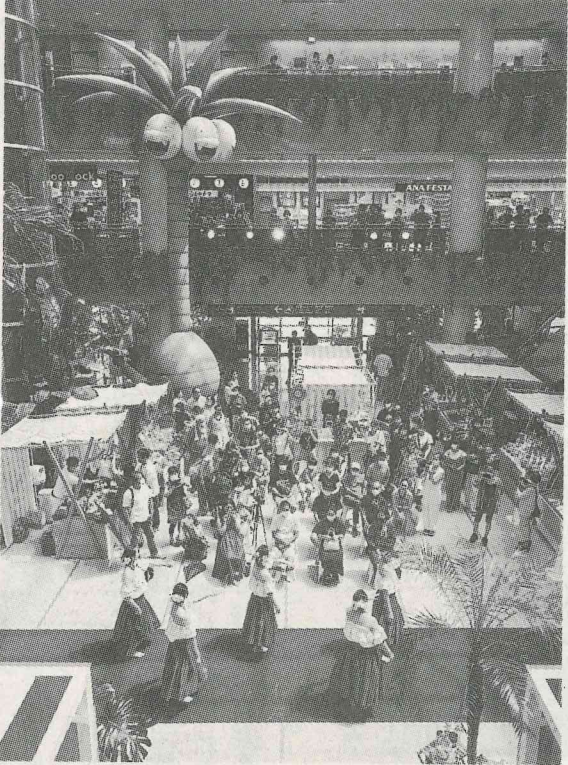
試食したスイーツのおいしさに「うまみやザキ」と発する酒井瞳さん

県北地域の魅力をPRするイベント「エントツノシタ」が18日まで、宮崎市の宮崎空港ビルオアシス広場で開かれている。連日、地域の紹介・体験イベントや食などが楽しめる物産市などが開かれ、県民や空港利用客らでにぎわっている。

旭化成延岡支社が主催して宮崎の空の玄関口で初めて開催した。期間中は県北の特産品やグルメ、スイーツ、雑貨などを扱う店が日替わりで出店する「ひがわりマーケット」や、アクセサリーなどを手づくり体験できるワークショップを出展開催するほか、動画などで県北の雄大な自然や観光地などを紹介している。

は、延岡市出身の酒井瞳さんのトークショーがあり、出店舗のグルメやスイーツのおいしさや香りを満面の笑みと食レポで観客に伝えてPR。ナ・フラ・ホアロハ」による「宮崎を感じるフラダンス」も南国気分を盛り上げていた。

旭化成延岡支社地域活性化推進グループの柳田真矢さんは「県北のたくさんさんの魅力を発信したい。コロナ禍で遠出ができない中、イベントを通じて『夏休みに県北に行ってみようかな』と、思ってもらえるとうれしい」と話していた。



県北PRイベント「エントツノシタ」。宮崎空港ビルのオアシス広場で18日まで開かれている

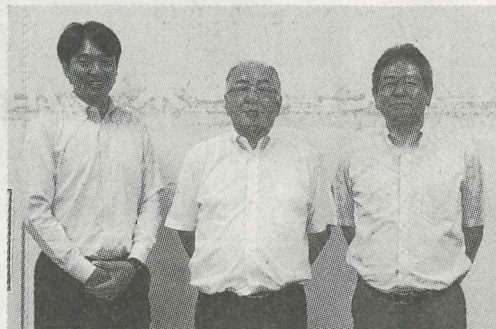


「ひがわりマーケット」もにぎわいを見せた

談話室

**失われた3年を
取り戻したい**
延岡観光協会の会長に就任した盛武さん

「まず、手始めに他の地区にない会員数で勝負をしたいですね」と話すのは、延岡観光協会の会長(代表理事)に6月17日付で就任したばかりの盛武一則さん(64)。



観光協会への入会は谷平興二前会長が会長に就任した10年前。副会長として谷平さんのエネルギーの一つのこ

とを突き詰める姿を近くで目にし、「これは谷平会長だからできるんだろうな」と思っていた」と振り返る。

その谷平さんから会長を打診されたのは2月。全く考えがなかつたし、私のキャラじゃないと思っていた」と笑うが、「(谷平)会長がやれって言うなら」と

引き受けたという。会員数は谷平さんの就任時の78人だったが390人に。他の市町村観光協会を既に上回っているが、就任後、早速、知人らに声を掛け、さらに会員数を伸ばした。

また、三北の海、山川を生かした観光のアピールや「道の駅はゆま」を観光や防災の拠点として生かした取り組みにも力を入れていると抱負。

「はゆまの近くには、地域住民が整備したコスモスが10月に見頃を迎える。コスモスを見せ、昼ご飯にはあゆまに連れていく。自然を体感しながら市中心部に連れて行くことができるのではないかと、10月からろうと、地元にも了承を得ています」と力を込める。

「インバウンドで外国から観光客が来た際、延岡を通り越して高千穂に行くのではなく、延岡にも来てもらう方法はないのか。生まれ故郷の北川を含む三北の発展にも力を入れつつ、「コロナによって失われた3年」を取り戻すべく、観光客の呼び込みに力を入れていく。

写真は(左から)岩佐純一専務理事(44)、盛武会長、浜松泰宏事務局長(64)―撮影時のみマスクを外しています。

記者手帳

2022.7.14

後輩が出張先で財布をなくした。置き忘れに気がついて慌てて戻ったがもうなかったという。当人はこの話で周囲を笑わせたが、旅先で財布をなくすことほど心細いものはない。実際に経験したことがある。

▽ 県外のある市で空港へ向かうシャトルバスの中で落とした。土産物を買おうとして気がついた。何百円か先のバスの案内所に全力疾走した。免許証、カードとすべてが入っている。荒い息で事情を話すと乗ってきたバスの運転手に連絡を取り、あることが分かった。「バスは折り返して来るから待つて」と言われ、実にほっとしたことがある。

さて、駅のホームで財布を落としたらどうするか。目の前に確かにある。でも電車が次々と入ってくる。やはりここは駅員を呼び、指示に従うしかない。今月6日、SNSで拡散され、テレビでも取り上げられていたのが、東京・山手線を止めた男性の話。人命救助が最優先の緊急停止ボタンを個人的な理由で押したから大騒動になった。

▽ 男性の言い分が振るっていた。「4万円が財布から出ている」「すごいお願いしているんじゃないですか。駅員は激昂していました。山手線を止めているんだぞ」と。秒単位に気を使い、命を守る使命もある。怒るのも当然だろう。意図は不明だが男性はスマホで撮影しながら抗議だった。それをネットに見るようになる。いい場合もあるが、何でもありの恐ろしい時代になったものだ。(飯干)